



3年に昇級してすぐ、全員が進路面談を行います。
 自分の夢に向かって行動を起こす時。
 目標を定め、情報を収集して
 面接の練習を繰り返して、試験に臨みます。
 生徒たちは新たなステージに歩みだします。



イラストレーターになりたい、そして将来はゲームのキャラクター制作の仕事に就きたいと考えています。そのためにメディア芸術系の大学へ進みます。3校の大学キャンパスを訪問して、どんな環境で、どんな勉強ができるのかを聞き、志望校を絞り込みました。面接の練習の時に先生から「自信をもって、大きな声で答えたほうがいいよ」とアドバイスをいただき、見事合格することが出来ました。

小さな頃から家でペットを飼っていて、将来はペットの係わる仕事をしたい。そこでペット系の専門学校を6校訪問しました。どんな資格を取得できるのか、費用はどれくらい必要か、学ぶ環境はどうか等々、色々なことを調べて、聞いて、見て、検討しました。そして母親の意見を聞いたら、私が考えていた学校がいいと、意見が一致。受験を決めました。将来は、トリマーの資格を取ろうと思います。



就職か、専門学校か。美容師か、アパレル関係か。3年の夏まで、悩みました。専門学校の見学と就職活動を同時に行いましたが、どこもピンときません。夏休みの終わりにもう一度、求人票を見に学校に来ました。その時、一緒に求人票を見てくださった先生が、「ここは、どう?」と。私も気になっていた会社で、すぐに会社訪問をして内定をいただきました。直感と縁、人生を決めるときに大切な要素かもしれません。